

リビング建材 ファミリーライン室内引戸（木造用・非木造用） 取付け説明書

- ※ は、ロットNO表示位置を示します。
- この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。
- 本製品の取付け範囲は、右表の通りです。

■取付け範囲

対応壁厚	ケーシングタイプ			木造用ノンケーシングタイプ				非木造用ノンケーシングタイプ	
	薄壁用	厚壁用	3枚建て・片引き2枚建て	片引き3枚建て	NC156	NC171	NC180	NC210	NC90
111~141	142~170	146~176	186~216	116~130	131~145	146~160	170~190	50~75	76~100

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。
- ▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

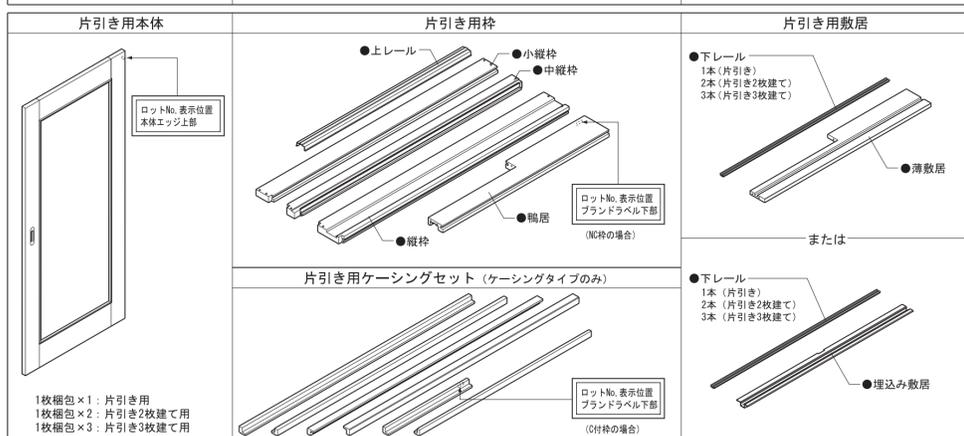
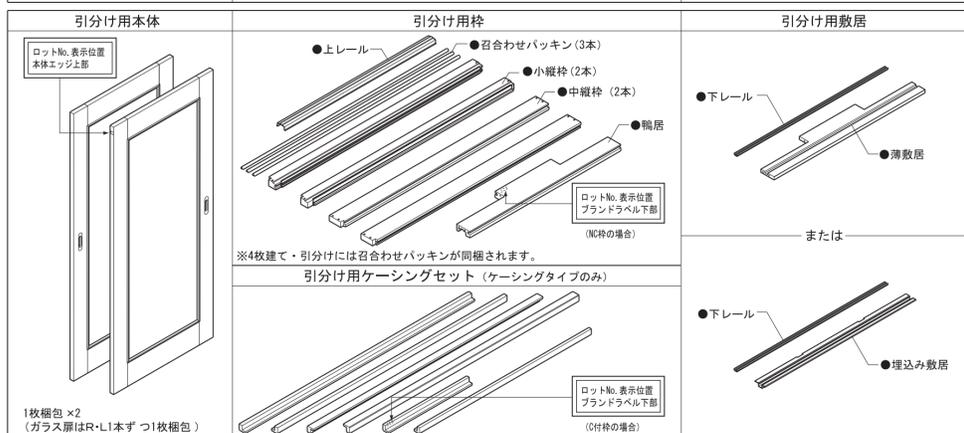
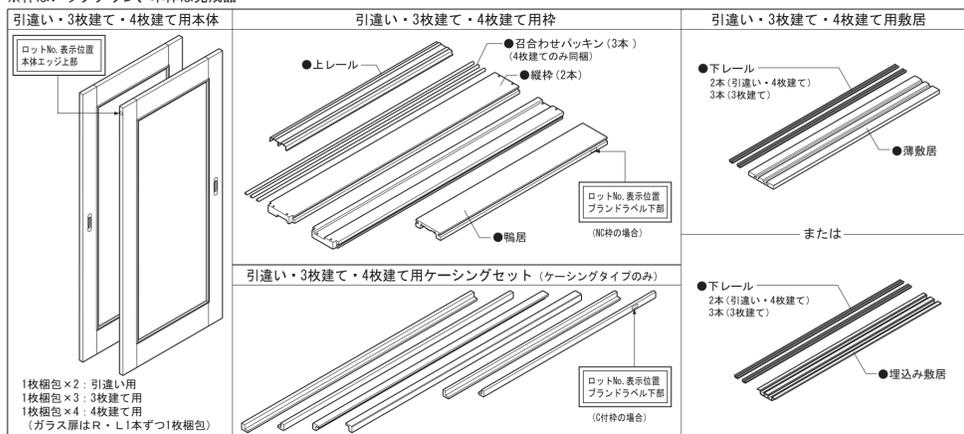
■施工上のお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 組立て後、取付けまでの持ち運び時に、ゆがみ、ねじれ等無いよう運搬してください。ゆがみ、ねじれ等があると、枠に割れが発生するおそれがあります。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれ等のないよう（特に中縦枠）施工してください。
- 造作材・建具枠を取り付ける時は、必ず木工用ボンドを併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に木工用ボンドを塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）

- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず透き間をつくり、かい木を入れてください。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品



■枠セット

枠	引違い			片引き		
	1	2	3	1	2	3
鴨居	1	1	1	1	1	1
縦枠	2	1	-	2	1	1
中縦枠	-	1	2	-	1	1
小縦枠	-	1	2	-	1	1
上レール	1	1	1	1	1	1

数層	引違い			片引き		
	1	1	1	1	1	1
数層	1	1	1	1	1	1
下レール	2	1	1	3	2	2

部材セット	引違い			片引き		
	1	2	3	1	2	3
引違い用	1	-	-	-	-	-
片引き用	-	-	-	1	1	1
3・4枚建て用	-	-	-	-	-	-
片引き2枚建て用	-	-	-	-	-	-
片引き3枚建て用	-	-	-	-	-	-

■部品セット明細

部品名	数量	部品名	数量
組立てねじ DN ビス(血木ねじ)φ3.8×65	4本	組立てねじ DN ビス(血木ねじ)φ3.8×65	4本
鴨居取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	5本	鴨居取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	6本
縦枠取付け用 キャップ取付け血木ねじφ4.5×50	12本	縦枠取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	6本
縦枠躯体取付け血木ねじ用 ねじ頭キャップφ18	12個	ねじ頭キャップφ18	6本
組立てねじ DN ビス(血木ねじ)φ3.8×65	4本	鴨居取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	9本
鴨居取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	9本	縦枠取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	12本
縦枠取付け用 キャップ取付け血木ねじφ4.5×50	12本	縦枠躯体取付け血木ねじ用 ねじ頭キャップφ18	12個
縦枠躯体取付け血木ねじ用 ねじ頭キャップφ18	12個	穴埋めシールシート	2枚

■開口部の確認

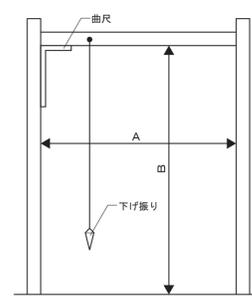
- 開口部の水平・垂直を確認してください。
- ※開口寸法が下記寸法になっていることを確認してください。

開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

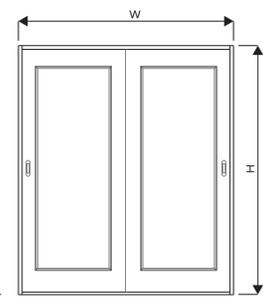
■壁厚の違いによる枠とケーシングの組み合わせ

ケーシング(定寸法)	対応壁厚
薄壁用	8 111~121
	14 122~133
	19 134~141
厚壁用	8 142~148
	14 149~160
	19 161~170
3枚建て	8 146~156
片引き2枚建て	14 157~168
	19 169~176
片引き3枚建て	8 186~196
	14 197~208
	19 209~216

■開口寸法



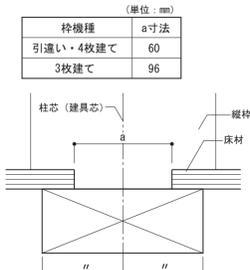
■製品寸法



■床の張り方

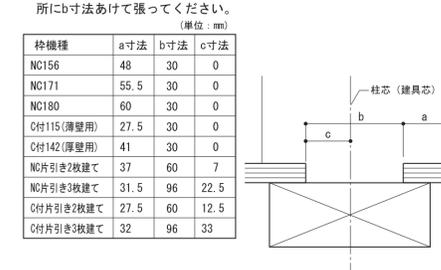
【床先張り(枠後付け)の場合】

- 引違い・3・4枚建て
- ※床材は、柱芯(建具芯)を中心にa寸法あけて張ってください。



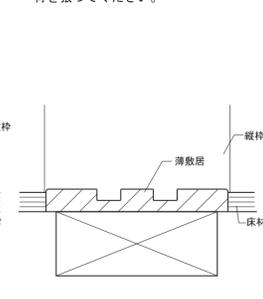
【片引き・引分け】

- ※床材は、柱芯(建具芯)より引き込み側にb寸法あけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて張ってください。



【床後張り(枠先付け)の場合】

- ※枠取付け後、縦枠・薄数層にそって床材を張ってください。



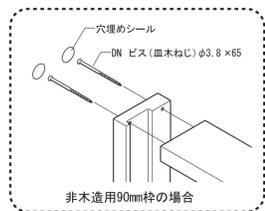
■取付け順序

1 枠の組立て

- (3枚建て・4枚建てで枠は、引違い枠に準じる)
- (引分け・片引き2枚建て・片引き3枚建てでは、片引き枠に準じる)

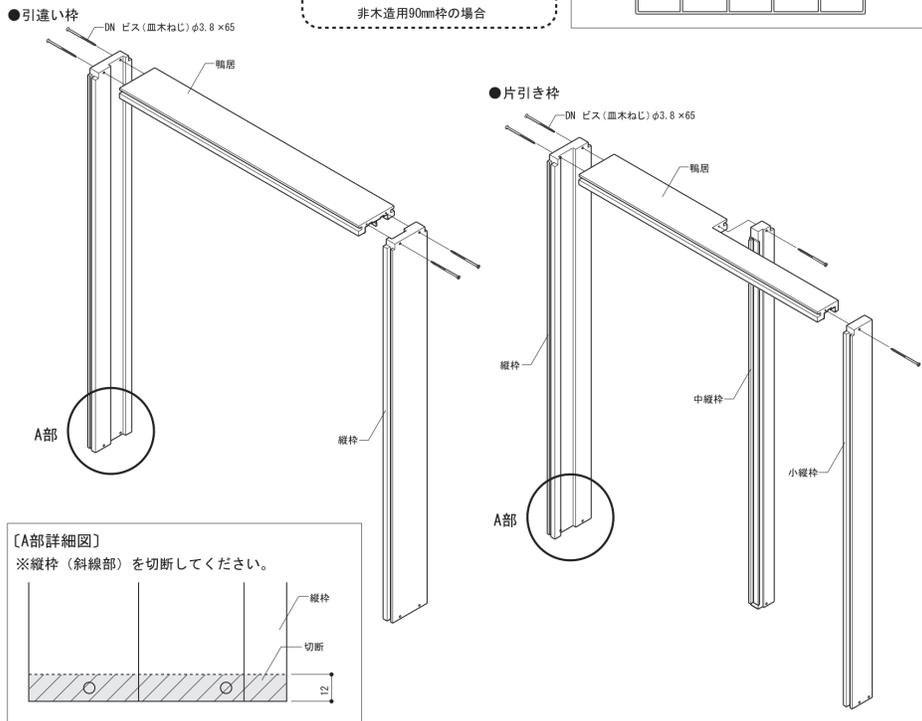
【床先張り(枠後付け)の場合】

- ※埋込み敷居を使用してください。
- 図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ(DNビス(血木ねじ)φ3.8×65)で固定します。
- ※非木造用90mm枠幅の場合は、各ねじ頭に穴埋めシール(同梱)を張ってください。



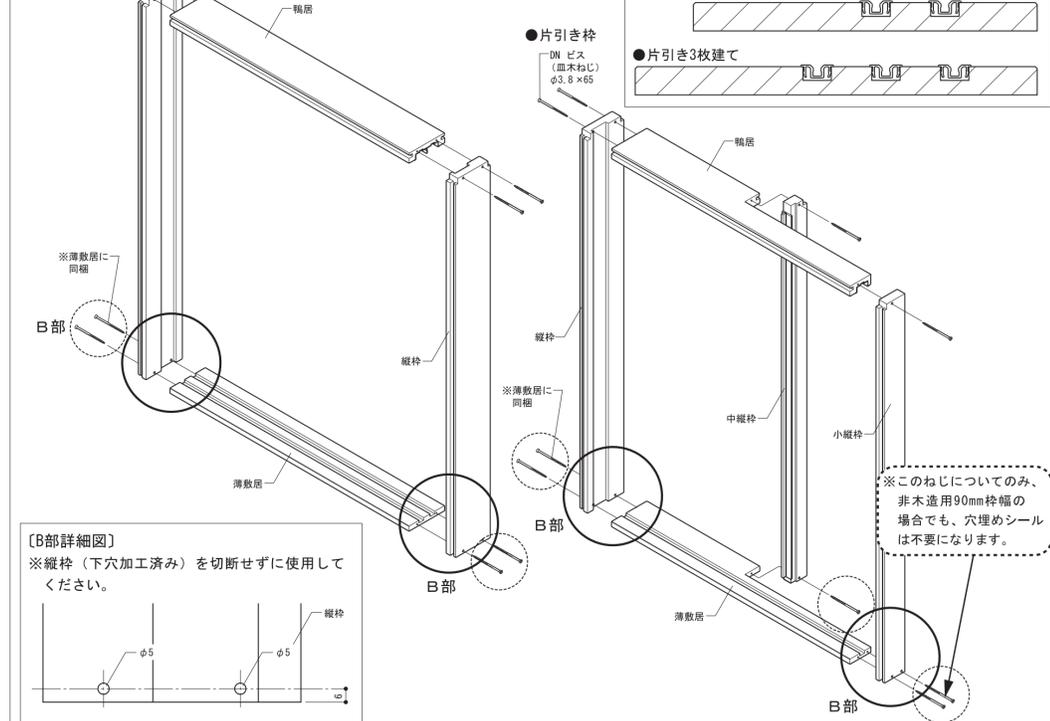
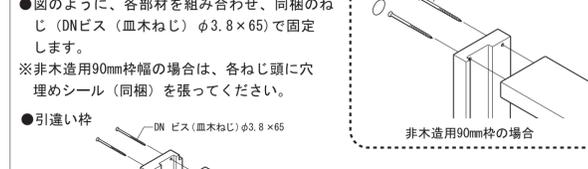
【埋込み敷居】

- 片引き・引分け
- 引違い・4枚建て・片引き2枚建て
- 3枚建て・片引き3枚建て



【床後張り(枠先付け)の場合】

- ※薄数層を使用してください。



※このねじについてのみ、非木造用90mm枠幅の場合でも、穴埋めシールは不要になります。

2 枠の取付け

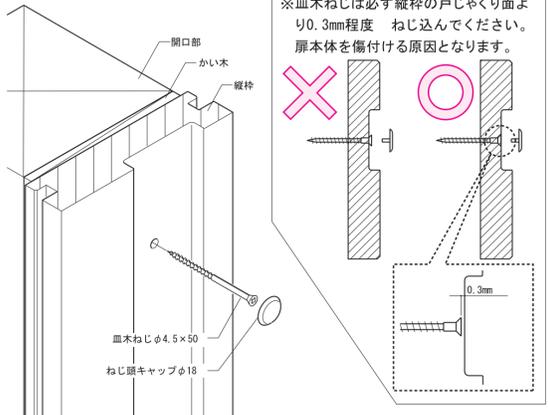
開口部と、縦枠・（中縦枠・小縦枠）・上枠との間にかい木を入れて取り付けます。

● 鴨居

※鴨居はナベタッピンねじφ4×40で固定してください。

● 縦枠（片引き2・3枚建て・引分けを除く）

※血木ねじφ4.5×50で固定し、ねじ頭キャップφ18をはめ込みます。

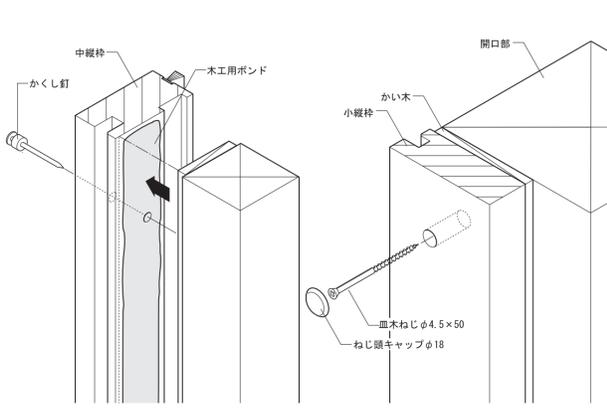


● 中縦枠

※裏面に木工用ボンドを塗布し、専用のかくし釘で固定します。

● 小縦枠及び片引き2・3枚建て用縦枠

※血木ねじφ4.5×50で固定し、ねじ頭キャップφ18をはめ込みます。



▲ 注意

● 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれ等のないよう（特に中縦枠）施工してください。

● 本体つり込み後、本体が鴨居に5mm以上かかっている事を確認してください。本体が枠から外れ易くなり、ケガや故障の原因になります。かかりが5mm未満の場合は、建て付け調整を行ってください。引戸本体が倒れ、ケガをするおそれがあります。

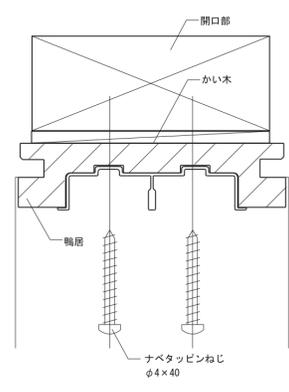


【お願い】

※片引き・引分けの建具引き込み部の半壁は、枠を開口部に取り付けてから施工してください。

【床後張り（枠先付け）の場合】

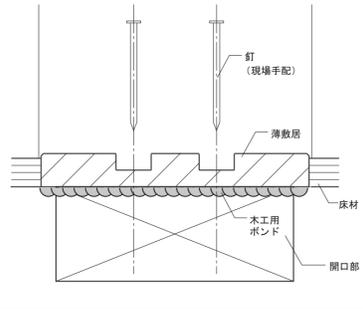
※ナベタッピンねじφ4×40で固定します。



● 床材厚さ12mm

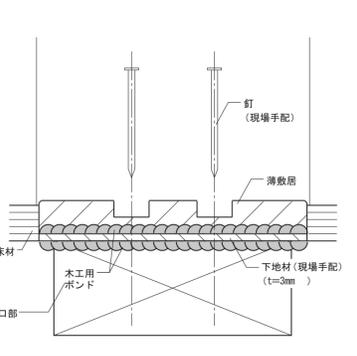
※必ず薄敷居に木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。

※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで木工用ボンドと併用して取り付けてください。



● 床材厚さ15mm

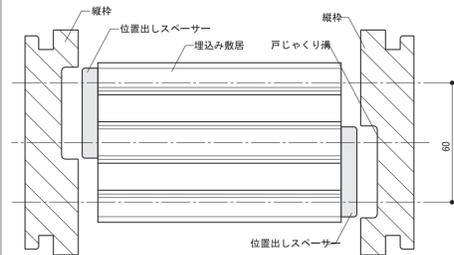
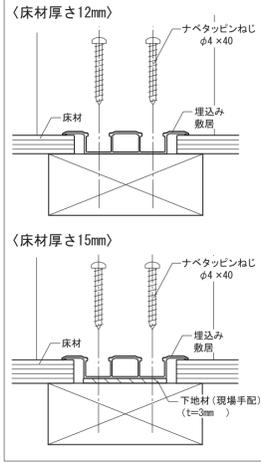
※必ず薄敷居と下地材に木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。



【埋込み敷居の取付け】

● 引違い枠（3・4枚建て枠は引違い枠に準じる）

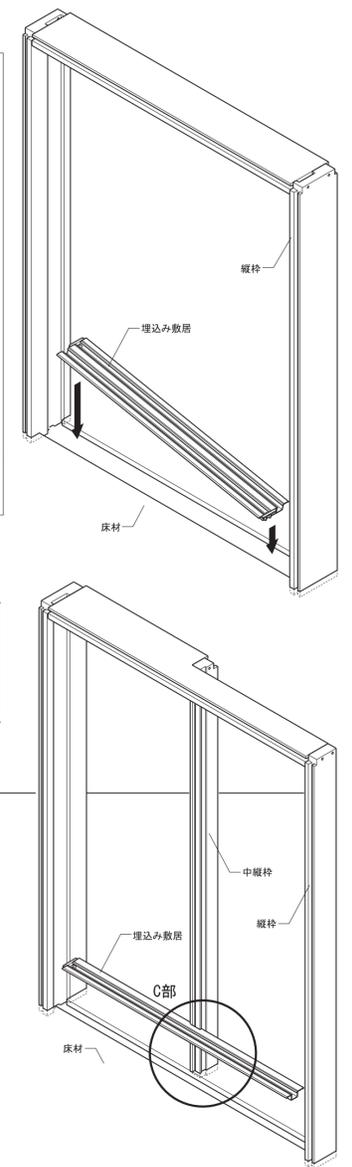
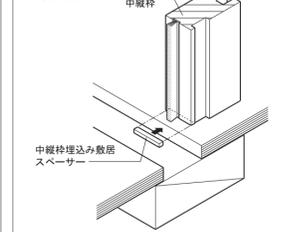
- ① 埋込み敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じやくり溝に合わせます。
- ② 同梱のねじで固定します。



● 片引き枠（引分け・片引き2・3枚建て枠は片引き枠に準じる）

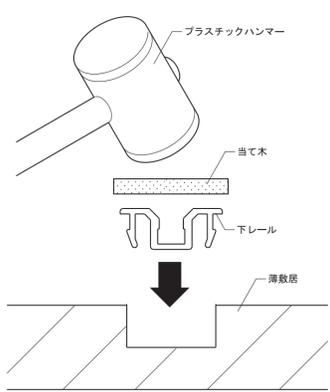
- ① 埋込み敷居同梱の中縦枠埋込み敷居スペーサーを中縦枠の透き間に入れてください。
 - ② 埋込み敷居の切欠きを中縦枠に合わせます。
- ※以下は引違い枠を参照してください。

【C部詳細図】

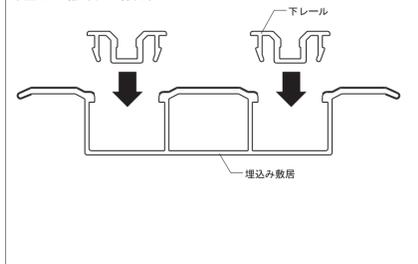


3 下レールの取付け

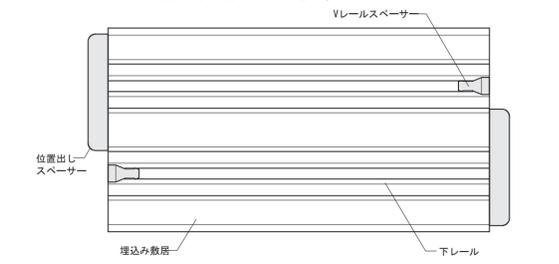
● 敷居の溝にプラスチックハンマー等でたたき込んで固定します。



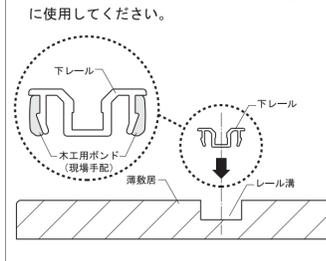
【埋込み敷居の場合】



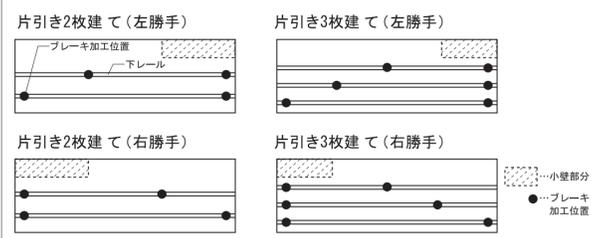
※下レールは、下図の向きで取り付けてください。



※木工用ボンドは、レール溝にガタのある場合に使用してください。



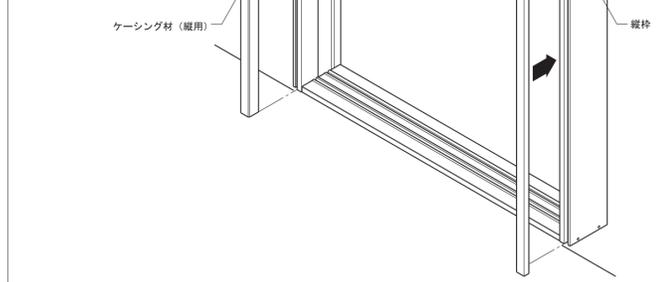
※片引き2・3枚建ての下レールは、プレーキ加工の位置がそれぞれ異なりますので、下図に従って取り付けてください。



4 ケーシング材の取付け（ケーシングタイプのみ）

※壁材・床材を仕上げからケーシング材を取り付けてください。

- ① 別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。（上枠用は枠に合わせてあらかじめカットしてあります。）
- ② 枠のケーシング溝へケーシング材を差し込みます。
- ③ ケーシング溝とケーシング材裏面に木工用ボンドを塗布し、ケーシング材を固定します。



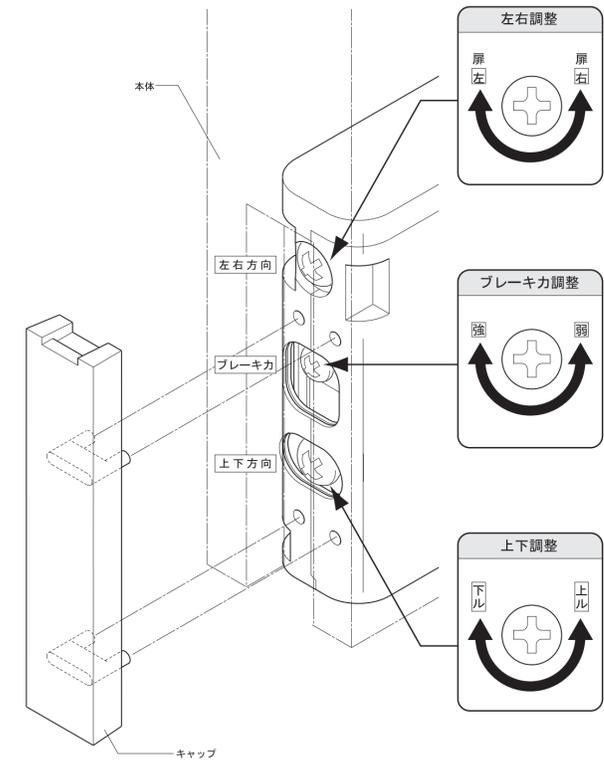
■ 建て付け調整

■ 引戸本体の建て付け調整

● 本体には、上下方向及び前後方向及びプレーキ力の調整機能が付いています。

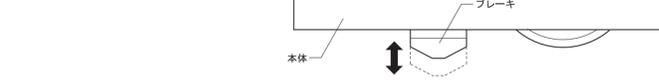
上下調整（調整幅±4mm、-1mm）

● 本体両下端のキャップを外し、上下調整ねじを左に回すと本体が上がり、右に回すと本体が下がります。調整後はキャップを付けてください。



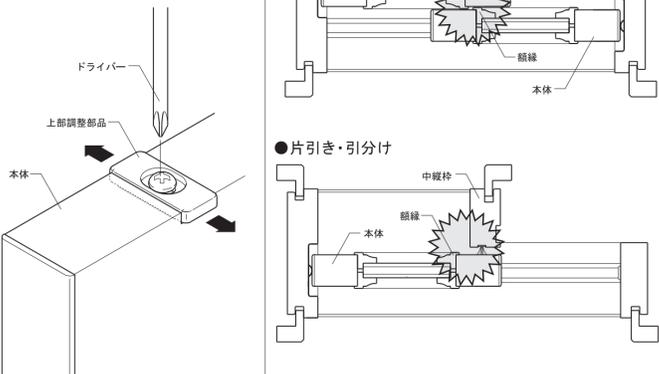
プレーキ調整

● 本体両下端のキャップを外し、プレーキ調整ねじを右に回すとプレーキが強まり、左に回すとプレーキが弱まります。なお、プレーキ調整は上下調整終了後に行ってください。調整後はキャップを付けてください。



前後調整（調整幅±2mm）

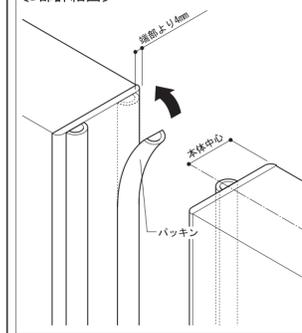
- ① 本体両下端のキャップを外し、前後調整ねじを右に回すと本体が左に動き、左に回すと右に動きます。調整後はキャップを付けてください。
- ② 本体上端の上部調整部品のねじをゆるめ、①で調整した分だけ上部調整部品をずらし、ねじを締め直します。（本体が常に垂直になるように調整してください。）



■ 召合わせパッキンの取付け（4枚建て・引分けのみ）

※4枚建て・引分け用本体の召合わせ部に、枠と同梱のパッキンを取り付けます。パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押し張り付けてください。（パッキンは枠のダンボールに入っています。）

【D部詳細図】



■ 引戸錠の向きについて

※引戸錠（取付け済み）のサムターンが部屋内にきていない場合、図のように向きを変えてください。

